

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課 長野正己	電話番号	0852-22-5123
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	安全で美味しい島根の県産品認証事業		
目的	(1) 対象	消費者・生産者	
	(2) 意図	高い安全性と品質を兼ね備えた産品を生産する生産工程管理の仕組みを認証する「美味しまね認証制度」を推進することを通じて、県内産農林水産物の安全性と消費者の信頼を確保し、産地（生産者）のレベルアップと市場競争力の向上を図る。	
事業概要	島根県が定めた生産工程管理基準に基づいて生産される県産農林水産物を認証する制度および認証制度の周知・普及を図る。 制度の目的は、①県産農林水産物の安全確保と消費者からの信頼づくり ②市場における競争力の強化 ③産地レベルの向上 ④認証取得者の経営基盤の強化を図ること。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 新規認証数（品目数）	目標値		6.0	6.0	6.0	6.0	品目
		取組目標値						
	式・定義 新規認証数（品目数）	実績値		27.0				
		達成率	-	450.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	11,311	10,960
うち一般財源 (千円)	11,311	10,960

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 農業参入事業者や集落営農法人などに制度の導入支援を行った結果、27品目の新規認証となった。 集落営農組織が新規に認証されたことにより、経営の多角化や経営改善につながる動きとして他の組織にも波及効果が高い。 28年度に認証された経営体は、上記のほかに、生産団体、農林高校と多様な経営体で取得が進み、導入モデルとして波及効果が期待できる。 GAPの取り組みがさらに進むよう、内水面養殖魚の基準を新たに設定した。 マスメディアやイベントを通じて、美味しまね認証制度を効果的に広報した。 県内の量販店に対し、美味しまね認証制度の認知度を高めるため情報提供を行い、制度説明と認証産品の説明を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ol style="list-style-type: none"> 新規認証品目数が大幅に増加し、GAP及び美味しまね認証の普及拡大ができた。 集落営農組織が新規に認証されたことにより、経営の多角化や経営改善につながる動きとして他の組織にも波及効果が高い。この事例を参考に、他の生産者に制度普及を進めて行く。 認証基準を見直し、需要動向に柔軟に対応できた。 量販店の制度への理解が進んだ。 県GAP推進協議会を設立し、JAしまねとの連携体制を強化した。
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ol style="list-style-type: none"> GAPの取り組みがまだ全県に至っていない。 美味しまね認証取得者がまだ少数である。 国際水準のGAP認証取得の意向がある者の支援が求められている。 美味しまね認証基準のレベルアップや制度の強化を検討する必要がある。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ol style="list-style-type: none"> 美味しまね認証数が少なく、県全体での販売につながっていない。 国際水準GAP取得希望者の相談・支援を行う指導員の確保やレベルが十分でない。 消費者の美味しまね認証制度の認知度がまだ不十分である。 国は、国際水準のGAP認証取得を進めるよう推進中であるが、美味しまね認証基準は国際水準でない。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ol style="list-style-type: none"> 生産部会等団体認証取得の推進 GAP取得のための支援体制の強化 消費者・販売者等への認知度の向上 美味しまね認証基準と制度の強化（国際水準）

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ol style="list-style-type: none"> 美味しまね認証取得者拡大による売れるものづくりの推進 GAP指導員資格者の確保とレベルアップ 美味しまね認証制度のPR推進 美味しまね認証制度の検討
